

英エリートたちが、合意年齢を 12 歳に引き下げる新法を 求める

子供の性合意年齢の改定は“被害者非難”のためだと、怒り爆発

【訳者注】「ペドフィリア文化などというものが、あるものか！ 大袈裟な！」と言っていた人々は、これで信じていただけるだろうか。これはイギリスの話だが、政界全体が、“合意”の定義を曖昧にして、エリートの側に立とうとしている様子が伺える。

恐ろしいのは、「なし崩し」ということで、我々の知らぬ間に、犯罪が徐々に認められ、常識となり、文化になっていく。もともと（NWO と一体の）共産主義の重要な柱「家族制度の廃止」は、性的墮落を通じて神の世界を乗っ取ることである。サタンは、どんな神学者より神学をよく知っており、それを逆手にとって利用する狡知をもっていると言われる。プーチン大統領は明らかに、伝統的な、宗教的価値観に基づく家庭を重んじ、崩壊の方向に流れようとする西側を警告している。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170831.pdf>
イギリスの首相はずっとエリートの側に立っており、メイ首相のこの発言も、加害者保護の立場に立っている。<http://www.neonnettle.com/features/968-british-pm-theresa-may-pedophiles-should-be-allowed-to-adopt-children-too>

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

September 18, 2017



英司法長官 David Lidington はペドフィリアの犠牲者を守ると約束した。
右は、ペド疑惑をかけられている元英首相エドワード・ヒース（1916–2005）

12 歳という子供の年齢が、ペドファイルとのセックスに合意するに十分な年齢だとする新しい法が提案されて以来、英国エリートたちによるこの法改正への新しい運動が、一般大衆の大きな怒りを買っている。

この新しい法の改正は、子供性虐待の犠牲者が、彼らが“合意した”という理由で、加害者を法的に訴えることができないようにするために、考え出されたものである。

<http://www.neonettles.com/tags/child-abuse>

刑事加害補償局（CICA）は、今年初め、激しい反発を受けた。それは、700 人近い子供のペドフィリア被害者が、加害者からの、子供たちは“合意した”という主張によって——レイピストがその罪で服役した場合でさえ——補償を拒否されたという事実が、明らかになったことによる。 <http://www.neonettles.com/features/1048-theresa-may-blocks-compensation-for-raped-children-they-consented-to-abuse>

この新しい改正案は、“バーナード被害者支援団体”のような子供保護慈善団によって、激しく叩かれた。彼らは、エリートたちが、自分たちの恐ろしい犯罪をノーマル化しようとして、「犠牲者非難」を狙っているのだと言っている。

現在のところ、成人が 16 歳以下の子供と関係をもつのは違法である。しかし新しい改正案では、子供レイプの被害者は、もし加害者がその子は「合意したのだ」と言えば、レイピストを訴えることはできなくなる。

ガーディアン紙によると、法務長官デイヴィド・リディントンは、先週、子供グルーミング集団の犠牲者が、補償金を拒否されるようなことのないように、ルール改正をすると議員団に話した。（子供グルーミングとは、子供を保護するような態勢を作り、性的目的に利用すること）

しかし CICA の改正指導書は、子供性虐待の被害者は、それでも、「現実上の合意は、法律上の合意とは違う」という根拠で、この規制からはずれることがありうると述べている。

子供がかかわる場合ですら、「性行動が本当に当事者たちの自由意志である場合には、暴力犯罪が起こったことにはならない」と、それは言っている。

イギリスのロザラム（Rotherham）グルーミング・スキャンダルの、最も著名な生き残りの一人 Sammy Woodhouse は、この改正指導書を「嫌悪すべきもの」だと言った。「これはひどい話です。私はそんなものを絶対に信ずる気はない。私はこの運動を続けるつもりです。

だから明日、デイヴィド・リディントンに電話します」と、彼女は言った。

ロザラム選出議員の Sarah Champion は、これは「軽蔑すべきもの」だと言い、法務長官にアドバイザーが必要だと言った。「それが基本的に言っていることは、国家はあなたを信用しないということ、あなたはこのことでウソをつく可能性がある、ということで、そういうメッセージを送ることは全く間違っている」と、彼女は言った。

「これによって非常に明らかになってくることは、主観的な判断をする役人がいるということ、そしてこの指導書は、裁判官も子供も真実を言っているという前提に立っていないことです。

「それは、暴力犯罪が起こるなんて考えられないという前提に立っており、この前提を有効なものとするなら、そういったすべてを念頭に置いておかねばなりません。」

先週、明らかになったことは、ウッドハウスは、彼女の法廷証言のおかげで最も悪名高いロザラムのグルーミング団の頭の一人が有罪になったにもかかわらず、補償金を、最初、拒否されたことだ。それは CICA が、彼女は合意したのであり、自由がなかったのではないと結論を下したからだった。 <https://www.theguardian.com/society/2017/sep/11/compensation-body-told-rotherham-abuse-victim-she-consented>

この政府団体は彼女にこう言った——「私は、あなたの合意が本心でなく、犯罪者に上手に言われた結果だったという言い分に納得しません。証拠は、あなたが操られていたとか、次第に偽りの関係に引き込まれていったということを、示していません。」

彼女がこの決定に不服を訴えると、彼女はわずかの示談金を提供され、それは最終的には改められて、最高限度の金額を与えられた。

彼女を虐待した Arshid Hussain は、強姦、誘拐、淫乱行為など、多数の罪状によって有罪となり、彼の兄弟たちと共に、昨年、35年の禁固刑となった。3人兄弟、彼らの叔父、2人の女の一味は、55もの深刻な罪状が明らかになったが、そのうちいくつかは20年近く発覚しなかった。 <https://www.theguardian.com/uk-news/2016/feb/26/three-brothers-jailed-over-rotherham-child-sexual-abuse>

CICA は、“バーナード被害者支援団”などの慈善団体からの批判に従って、7月に、そのガイドラインの見直しを始めた <https://www.theguardian.com/society/2017/jul/18/government-denying-sexually-abused->

[children-compensation](#)

法務長官リディントンは、先週、下院議員に対し、新しい規定は、「子供が合意したからといって、補償の資格が奪われることはない」と保証するものだ。それはその合意が、実質的には、巧みなグルーミングによって強制されたものだからだ」と述べた。

しかし、セアラ・チャンピオンは、性的虐待慈善団体のわずかの人々と話し合っただけの、この改定ガイドラインの草稿は、リディントンの約束を覆すものと批判した。

参考資料：「テリーザ・メイが、レイプされた子供の補償を妨げる：彼らは虐待に“合意した”」<http://www.neonnettle.com/features/1048-theresa-may-blocks-compensation-for-raped-children-they-consented-to-abuse>

ガイドラインはこのように述べている――

「法的な合意年齢は 16 歳である。人が、どんな環境下でも、13 歳以下の者と性的行為をすることは犯罪行為であり、13 から 16 歳までの者と性的行為をすることは、ある狭い範囲の弁護が当てはまらない限り、犯罪行為である。通常、そのような犯罪行為が行われた場合には、その子供は暴力犯罪の被害者であり、したがって付則 B の下で補償の対象になる。」

「しかし“事実上の”合意は、“法的な”合意とは異なる。」

「この規定は、16 歳以下の者が、“事実上”性的行為に合意した状況があるという可能性を認める。」

「性的行為が真に当事者の自由意志である場合には、暴力犯罪が起きたことにはならない。」

それはさらに続けて、「成人が、子供と性的行動を行うというケースはまれであろう。

「“事実上の”合意というものは、合意が、自由意志で自発的に与えられたと納得した場合にのみ成立する。

「未成年者が、問題の行為に合意を表明したように見えたとしても、周囲の諸条件が、その状況は虐待であり、合意は真の合意でなかったことを、示すかもしれない。」

このガイダンスはまた、12 歳以下の子供でも、性的行為に合意していたのだ、とわかるこ

ともあるだろうと言っている。

それはこう言っている——「その事件が起こったのが、子供が 12 かそれ以下の場合には、我々はその子が事実上の合意をしたのでないと思う。証拠によってそれが明瞭に否定されない限りは。」

多くのロザラムのグルーミング犠牲者のために活躍してきた弁護士、デイヴィッド・グリーンウッドは、司法長官はアドバイスを入れよというチャンピオンの要求を、支持した。

「私は、CICA がいまだに、彼らが合意したという根拠で、性的に虐待された男女の子供たちに、補償を拒否することができると思っていることに、非常に失望している」と彼は言った。

「警察がこれらの事件に関与しているという事実そのものが、合意がなかったことを示唆する。

「生き残った人々が、彼らの事件を CICA にもってくるという事実は、彼らが合意しなかったことを示すものだ。法務省の誰かが、合意についてのルールを修正するために割って入るべきだ。」

CICA の報道官は、「子供の性的虐待は嫌悪すべきものだ」と言った。

「我々のガイドラインは、支配して虐待する振る舞いが、補償を受けるべき人の扱いにおいて、考慮されるように考えられています。

「我々はこういった決定を、間違わないようにしなければならないと思っています。

「だからこそ我々は、スタッフの方針を見直して、グルーミングの事情のあらゆる例を調べるべきだと思っています。」

——以上